

---

2014(平成 26)年度 事業計画書

学校法人 池坊学園

---

## 2014年度 (学)池坊学園・事業計画書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

学校法人池坊学園

事務所(京都) 京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町491番地

### 1 法人の概要と計画

#### (1) 法人の沿革

1951年	池坊華道会全国支部長会議で池坊学園設立案可決(設立委員長 山本忠男)
1952年	学校法人池坊学園、池坊学園短期大学(以下、「短大」という)設置認可(3月5日)
	短大開学(4月1日)。第1回入学者は国文科、服飾科 計43名
	短大学生会発足
	池坊学園実践学院開学(10月から夜間部開設)
1954年	短大卒業者のための華道研究科を付設(1967年、研修科に改称)
	短大同窓会発足
1956年	和心館竣工
1957年	池坊学園図書館で華道文献目録編纂
1958年	木造本館校舎の大半を焼失、四条門開門
1959年	洗心館竣工
1960年	池坊学園お茶の水学院開学
1962年	短大国文科に文芸と教職の選択コース制。服飾科を生活科学科に改称し、
	服飾・家政・教職の3選択コース制
1966年	「池坊学園短期大学」を「池坊短期大学」に改称。本館竣工
	池坊学園実践学院を池坊文化学院(以下「文化学院」という)に改称し、昼間部開設
	池坊学園お茶の水学院を池坊お茶の水学院(以下「お茶の水学院」という)に改称
1969年	池坊短期大学生生活科学科を家政科に改称
	元池坊学園総理事山本忠男死去
1972年	短大付設の研修科は文化学院へ編入
1977年	学園創立25周年を記念し、隣接土地・建物を購入、美心館と命名
1980年	短大の一般教育科目中の総合科目として、「華道と現代生活」が正課に認可
1985年	短大の国文・家政両科の選択コース廃止
1987年	一般教育科目に情報科学開講、パソコン設置
1990年	和心館4教室に、AV教育システム設置
1991年	一般教育科目の分野区分を廃止し、共通科目として名称変更
	池坊学園学舎改築基本計画策定

1993年	科目等履修生制度設置
	短大の共通科目中の総合科目として、「茶道と伝統文化」が正課に認可
1994年	京都・大学センター（現・大学コンソーシアム京都）発足、加入。単位互換協定に参加
1995年	学舎改築第1期棟「美心館」竣工（旧美心館の地）
1997年	学舎改築第2期棟「洗心館」竣工（旧洗心館）
	短大国文科を日本語日本文化学科に、家政科を生活文化学科に改称
	池坊文化学院（各種学校）が専修学校として設置
1998年	博物館学課程設置
1999年	学舎改築第3期棟「和心館」竣工
	和心館に池坊短期大学むろまち美術館・体育館を設置
2000年	短大日本語日本文化学科を文化芸術学科に、生活文化学科を環境文化学科に改組転換
2001年	華道文化コース設置
2004年	ビューティアートコース設置
2005年	ファッションコーディネートコース設置
	中庭「コートるり」を整備
2007年	華道文化研究所を池坊短期大学付設機関に移設
	池坊短期大学むろまち美術館をむろまちアートコートに改称
2008年	製菓衛生師養成施設設置認可（製菓クリエイトコース設置）
	フラワーマネジメントコース、ブライダルプランナーコース設置
2009年	エステティシャンコース設置
2010年	医療クラークコース、フードビジネスコース設置
	池坊文化学院正科生募集停止
2011年	メイクアドバイザーコース、トータルビューティーカーコース設置
2012年	池坊お茶の水学院閉校

## （２） 設置学校の学科・コース編成

### ①池坊短期大学

文化芸術学科（入学定員 75名、収容定員 150名）

いけばな・花デザインコース

ブライダルプランナーコース

医療クラークコース

環境文化学科（入学定員 200名、収容定員 400名）

ファッションコーディネートコース

製菓クリエイトコース

トータルビューティーカーコース

エステティシャンコース

**(3) 役員・役職者** (2014年4月1日現在)

理事 9名 (定員 7名以上10名以内)  
監事 2名 (定員 2名)  
評議員 24名 (定員19名以上26名以内)

学校法人池坊学園 理事長 谷野 光昭  
池坊短期大学 学長 松井 邦子  
池坊文化学院 学院長 岡 稔晴

**(4) 人事・組織** (2014年4月1日現在) 学園組織図は別表1の通りである。

法人職員 5名  
短期大学教員 文化芸術学科10名、環境文化学科8名 計18名  
短期大学職員 17名 (アルバイトを含む)

**(5) 池坊短期大学学年暦**

別表2の通りである。

**2 法人としての取り組み**

本学の目指す将来像を実現するためには、過年度の実績と評価を十分に考慮し、計画の立案から実行、評価そして改善や新たな戦略につなげていくというPDCAサイクルに則って、人件費および教育研究活動に直接要する経費を除いた経常的経費を中心に節減を行い、限られた財源の中で適正・公平な資金配分を行っていく。また、各計画の目的を明確にし、その実現に向けた行動を予算に具体化し、具体化された予算で目標を実現していくためのコントロールをきちんと行う。さらに、今後新たに計画される事業等についても既存業務の改善等見直しを行い、統廃合できる項目については整理・合理化を図って財源を捻出し、その結果発生した財源は、「選択と集中」をもって、本学全体の教育力に資する事業やさらなる進化を遂げる事業に積極的に投下していきたいと考える。

**3 事業内容**

**(1) 幼児保育学科開設について**

幼児保育学科開設構想については、2013年10月23日の理事会において、2016年4月開設を目途として、学内に幼児保育学科開設準備室を設置した。

開設準備室では新学科開設まで、主として、①学科の人材養成その他教育研究上の目的を定める、②アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの各方針を明文化する、③カリキュラムを具体化し、モデル履修案を作成する、④開設に必要な採用人事を進める等、学科開設に必要な各種任務に適切に対処する。

**(2) 社会的責任を果たす経営体制の強化について**

法人の理事には学長および外部の学識経験者が就任し透明性の高い理事会となっている。日常業務の審議機関である企画広報室会議は原則隔週開催し、必要な施策を迅速に講じている。

また、本学園における内部統制の有効性を高めるため、監事と会計監査人と連携し、会計と業務の監査機能を強化することによりコンプライアンスの実現に努めている。情報公開についても学校教育法施行規則等に従いホームページや事業報告書等で積極的に開示をしている。今後も透明性の高い経営体制の維持、強化に努める。

### **(3) 教学改革について**

魅力ある学校づくり、短期大学士教育のさらなる充実を図るため、適正規模の学校運営、教育の質保証を前提として、全学における教学体系のプログラム化を推進し、コース・科目の教育体系、履修モデルチャートの策定を行う。なお、教育情報の公開等ステークホルダーへの説明責任を果たせる施策等、以下の内容を中心に検討する。

- ①短期大学の意義と建学の精神に則った教学体系の確立を目標に、学科ディプロマを全学ディプロマとの連関よりさらに理解しやすいものに整理し、グランドコンセプト化を行う。
- ②学則定員の変更とカリキュラム全体の改革
- ③教育の質保証のため、学長のリーダーシップの推進のもとに教学組織体制の再構築および責任の明確化をはかること、ならびに担任制を含めた教学のあり方そのものに対してさらなる改善を加えていく。
- ④全学教学マネジメント（教学P D C A）の導入、点検等を通じた教員・授業評価制度の抜本的見直し、教育力・人間力の醸成のための施策の検討をすすめる。
- ⑤学生満足度の向上、退学者防止のための施策、および学生目線の教育プログラム等を策定する。
- ⑥教育総合支援体系として、入学前教育、初動教育、初年次教育の教育体系を確立する。

### **(4) エンロールメントマネジメントについて**

「入学前教育～教育学生支援～進路（就職・編入学）の確保・支援」について全学での一貫した学生データ管理、情報共有、きめ細やかな指導をおこなっていく。また、ポートフォリオの作成等を視野に検討をすすめる。

### **(5) 入学志願者・入学者の安定的確保を目指す**

全教職員がそれぞれの役割の中で、志願者のニーズを把握すると共に、その共有化を図る。また、訴求点の明確化に伴い各学科・コースは、ディプロマポリシーを念頭に置いた特色化を図り、人材養成実績（卒業後の進路）を明確にする。入学広報部を中心に大学全体で、オープンキャンパス・高校訪問・入試相談会等を強化し、高校生や高校教員との直接的な接触の機会を通して、本学への理解を深め、志望度を高め、ミスマッチのない入学者を増加させる。また、これまでの入試結果から、訪問対象高校を抽出し、訪問者の担当地域・担当校を設定し、継続的に同じ高校を訪問することにより、高校との信頼関係を築き、当該年度、および将来に向けた志願者獲得を目指す。

## (6) 外部資金獲得のための諸方策について

大学の使命が教育・研究活動の遂行にあることは言うまでもなく、このことを実現すべく質の向上をどこまでも追求していく必要がある。

研究面で著しい効果をあげられれば、その成果はおのずから教育活動にも還元されるわけであるが、研究を遂行するには、大学の予算だけでは十分とはいえない場合も多々あり、教育・研究活動を充実させ、質の向上を果たしていくためにも、積極的な外部資金の導入が必須となる。教員個人（グループも含む）としては、科学研究費補助金への申請に積極的に取り組み、組織としては、それぞれの研究基盤の整備をはかり、研究拠点の構築をめざしていきたい。

## (7) エクステンション事業の充実および地域連携の更なる改善と今後の方向性の検討について

高等教育機関として社会連携・社会貢献をどのように行っていくかを検討するとともに、現在、実施している職業訓練、貸出および課外講座の充実を図り、より一層学園の社会との関わりを深めつつ、収益増をめざす。

## (8) 施設設備・情報環境の整備について

### ①進路サポートルーム・保健室および図書館改修工事

貸与による池坊保育園増床のため、和心館2階にある進路サポートルーム等を図書館へ移設する。

移設の際は、学生サポート体制の充実を考慮し円滑かつ効率的な支援業務を行うことができる環境を構築するため図書館の改修、進路サポートルーム移設、保健室移設を行う。

### ②windowsXP サポート終了に伴う情報関連のハード・ソフトのリプレイス

### ③経年劣化による不具合が頻繁におこる吸収式冷温水機のオーバーホールを計画的に実施する。

[事業計画書に関する問い合わせ先]

学校法人池坊学園 企画広報室

〒600-8494

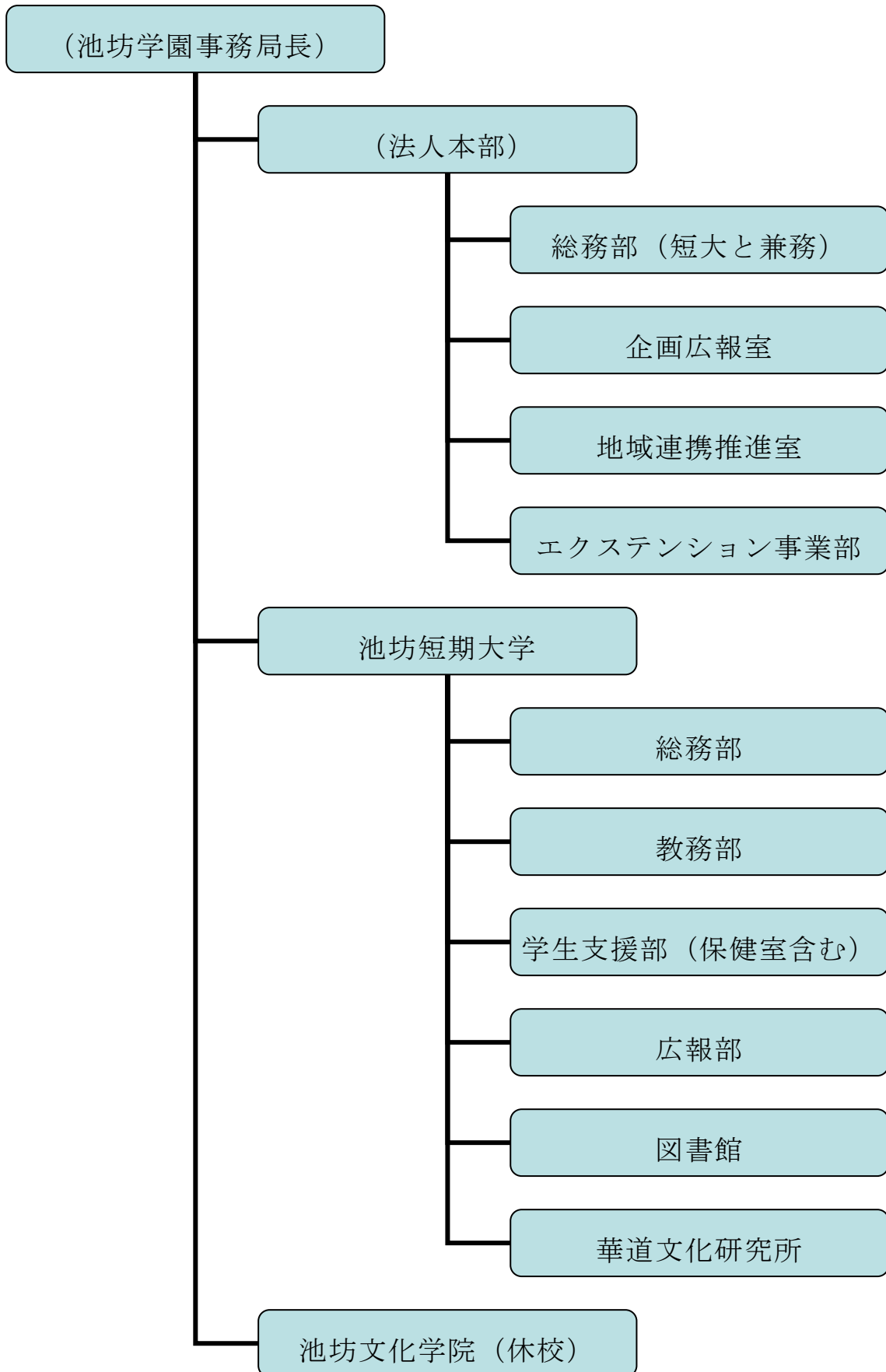
京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町

491番地

電話：075-351-8581

E-mail：admis@ikenobo-c.ac.jp

別表 1



別表 2

## 2014年度 池坊短期大学「学年暦」

前期	行事予定	後期	行事予定
4 / 1 (火)	2014年度開始・第63回入学式	9 / 19 (金)	後期 授業開始(仮受講期間～9/25)
2 (水)	新入生オリエンテーション 履修登録 学生生活(健康診断含む) 4/4(金)フレッシュマンキャンプ	20 (土)	大学コンソーシアム科目授業開始
3 (木)		23 (火)	秋分の日(平常授業)
4 (金)		25 (木)	後期 履修登録変更 締切日
5 (土)		10 / 13 (月)	体育の日(平常授業)
7 (月)		前期 授業開始(仮受講期間～4/12)	11 / 3 (月)
12 (土)	前期 履修登録締切日	14 (金)	準備(休講)
16 (水)	大学コンソーシアム科目授業開始	15 (土)	大学祭 展示(休講・大学コンソーシアム科目休講) 展示・片付け
29 (火)	昭和の日(平常授業)	16 (日)	
5 / 2 (金)	休講	17 (月)	創立記念日・休講
3 (土)	憲法記念日(休日)	23 (日)	勤労感謝の日(休日)
4 (日)	みどりの日(休日)	24 (月)	振替休日(平常授業)
5 (月)	こどもの日(休日)	12 / 15 (月)	後期 単位認定試験 時間割発表(10:00)
6 (火)	振替休日(休日)	20 (土)	大学コンソーシアム科目授業終了
7 / 10 (木)	前期 単位認定試験 時間割発表(10:00)	22 (月)	授業終了
12 (土)	祇園祭・鉦曳き初め(1年次生全員参加)	23 (火)	天皇誕生日(休日)
15 (火)	祇園祭「花きらきら」(授業は休講)	24 (水)	冬期休暇開始(→1/4)
16 (水)		1 / 1 (木)	元旦(休日)
17 (木)	休講	4 (日)	冬期休暇終了
21 (月)	海の日(休日)	5 (月)	授業再開
26 (土)	大学コンソーシアム科目前期授業終了	7 (水)	大学コンソーシアム科目授業再開
29 (火)	前期 授業終了	12 (月)	成人の日(休日)
30 (水)	補講日	17 (土)	後期 大学コンソーシアム科目授業終了
31 (木)	補講日	19 (月)	後期 授業終了
8 / 1 (金)	前期単位認定試験	20 (火)	補講日
↓	8/1(金)レポート試験提出締切日	21 (水)	補講日
7 (木)	8/2(土)大学コンソーシアム科目試験	22 (木)	後期単位認定試験 ↓ 1/22(木)レポート試験提出締切日 1/24(土)大学コンソーシアム科目試験
8 (金)	夏期休暇開始(→9/16)	↓	
20 (水)	前期 追試験 申請締切日	28 (水)	
25 (月)	前期 単位認定試験 不合格者発表(10:00)	30 (金)	準備
27 (水)	前期 再試験 申請締切日	31 (土)	卒業展 展示 展示
9 / 1 (月)	前期 追・再試験時間割 発表(10:00)	2 / 1 (日)	
3 (水)	前期 追・再試験	4 (水)	後期 追試験 申請締切日
4 (木)		9 (月)	後期 単位認定試験 不合格者発表(10:00)
5 (金)	夏期集中講義 ↓ 「和と美の日本文化」 「フラワービジネス論」	11 (水)	建国記念の日(休日)
8 (月)		12 (木)	後期 再試験 申請締切日
↓		16 (月)	後期 追・再試験時間割 発表(10:00)
12 (金)	敬老の日(休日)	18 (水)	後期 追・再試験
15 (月)		19 (木)	
16 (火)	夏期休暇終了	20 (金)	
17 (水)	前期 成績発表(1年次10:00、2年次13:00)	3 / 6 (金)	卒業認定者発表
		20 (金)	第62回卒業式
		21 (土)	春分の日(休日)
		24 (火)	後期 成績発表(新2年次生 10:00)
		25 (水)	新2年次生 ↓ オリエンテーション・履修登録
		↓	
		27 (金)	
		31 (火)	2014年度終了

補講については、設定された補講日、土曜日の午前中、及び平日に実施する。